

救急医療体制に係る調査について

1 アンケート概要

(1) 目的

- ・救急出動件数・救急搬送人員が増加する中で、令和6年度から施行される「医師の働き方改革」の影響もあり、地域の実情に応じた救急医療資源の効率的な活用や役割分担等の検討が必要となっている。
- ・これら課題への対応として、救急患者受入に係る県内の救急医療機関の取組状況や今後の対応等を把握するため、調査を行ったもの。

(2) 実施期間

令和5年12月

(3) 対象機関（県内78救急医療機関）

初期：1医療機関、二次：71医療機関、三次：6医療機関（回答率90%）

対象病院	回答済	回答率
78件	70件	89.7%

※初期救急医療機関は、仙台市輪番の協力病院

2 主な調査項目

- ・救急患者受入状況について
- ・転退院について
- ・高齢の救急患者受入について
- ・医師の働き方改革について
- ・その他行政に期待すること

3 回答

(1) 現在の救急患者受入状況について

診察時間内は「受入余力がある」との回答が54%と最も多く、診察時間外は「受入余力があまりない」との回答が70%と最も多い。ウォークインも同様の傾向。

① 救急搬送患者（救急車で搬送）の受入状況について

	日中（診察時間内）						休日・夜間等（診察時間外）					
	受入余力あり		受入余力なし		余力を超える		受入余力あり		受入余力なし		余力を超える	
仙台医療圏	24件	66.7%	11件	30.6%	1件	2.8%	13件	36.1%	20件	55.6%	3件	8.3%
仙台市	19件	73.1%	6件	23.1%	1件	3.8%	10件	38.5%	13件	50.0%	3件	11.5%
仙台市以外	5件	50.0%	5件	50.0%	0件	0.0%	3件	30.0%	7件	70.0%	0件	0.0%
宮城県計	37件	53.6%	30件	43.5%	2件	2.9%	17件	24.6%	48件	69.6%	4件	5.8%

② ウォークイン患者（救急車以外で来院）の受入状況について

	日中（診察時間内）						休日・夜間等（診察時間外）					
	受入余力あり		受入余力なし		余力を超える		受入余力あり		受入余力なし		余力を超える	
仙台医療圏	26件	72.2%	9件	25.0%	1件	2.8%	15件	41.7%	21件	58.3%	0件	0.0%
仙台市	20件	76.9%	5件	19.2%	1件	3.8%	12件	46.2%	14件	53.8%	0件	0.0%
仙台市以外	6件	60.0%	4件	40.0%	0件	0.0%	3件	30.0%	7件	70.0%	0件	0.0%
宮城県計	44件	63.8%	22件	31.9%	3件	4.3%	22件	31.9%	46件	66.7%	1件	1.4%

③ 救急患者受入を円滑にするための取組の実施について

	有		無	
仙台医療圏	28件	77.8%	8件	22.2%
仙台市	21件	80.8%	5件	19.2%
仙台市以外	7件	70.0%	3件	30.0%
宮城県計	53件	77.9%	15件	22.1%

各医療機関で実施している取組として以下のようなものがあった。

- ・ 転退院の調整により、救急患者を受け入れられる病床の確保に努めている。
- ・ 院内独自で研修を実施し、救急に携わるスタッフの対応力向上に努めている。
- ・ 専用電話番号を運用したワンストップでの対応。

(2) 将来の救急患者受入に対する考え方

救急搬送・ウォークインともに、「現状維持」の回答が診察時間内58%、時間外73%と最も多い。

① 将来の救急搬送患者受入に対する考え方

	日中（診察時間内）						休日・夜間等（診察時間外）					
	拡充		現状維持		縮小		拡充		現状維持		縮小	
仙台医療圏	21件	58.3%	15件	41.7%	0件	0.0%	11件	30.6%	25件	69.4%	0件	0.0%
仙台市	18件	69.2%	8件	30.8%	0件	0.0%	10件	38.5%	16件	61.5%	0件	0.0%
仙台市以外	3件	30.0%	7件	70.0%	0件	0.0%	1件	10.0%	9件	90.0%	0件	0.0%
宮城県計	28件	40.6%	40件	58.0%	1件	1.4%	13件	18.8%	50件	72.5%	6件	8.7%

② 将来のウォークイン患者受入に対する考え方

	日中（診察時間内）						休日・夜間等（診察時間外）					
	拡充		現状維持		縮小		拡充		現状維持		縮小	
仙台医療圏	14件	38.9%	20件	55.6%	2件	5.6%	8件	22.2%	25件	69.4%	3件	8.3%
仙台市	10件	38.5%	15件	57.7%	1件	3.8%	6件	23.1%	18件	69.2%	2件	7.7%
仙台市以外	4件	40.0%	5件	50.0%	1件	10.0%	2件	20.0%	7件	70.0%	1件	10.0%
宮城県計	19件	27.5%	46件	66.7%	4件	5.8%	8件	11.6%	51件	73.9%	10件	14.5%

③ 行政に期待すること

「救急車適正利用・診療時間内受診の普及啓発」、「退院元と退院先のネットワーク形成」等の意見があった。

(3) 転退院について

① 急性期治療後の支援病院への転院調整の状況について

- ・「円滑に進んでいる」との回答が70%。
- ・円滑に進んでいない場合の理由として「転院先ベッドの満床」、「患者の状態（傷病状態・精神状態・生活状況）が受入条件に合わない」との回答が多かった。

	円滑に進んでいる		あまり円滑ではない	
仙台医療圏	22件	62.9%	13件	37.1%
仙台市	17件	68.0%	8件	32.0%
仙台市以外	5件	50.0%	5件	50.0%
宮城県計	48件	70.6%	20件	29.4%

理 由	件数	割合
A 協力関係にある支援病院がないため	4件	6.3%
B 転院先ベッドが満床のため	12件	18.8%
C 空床等の情報確認に手間がかかるため	5件	7.8%
D 患者の傷病状態が支援病院の受入条件に合わないため	12件	18.8%
E 患者の精神状態が支援病院の受入条件に合わないため	12件	18.8%
F 患者の生活状況が支援病院の受入条件に合わないため	12件	18.8%
G 転院を本人・家族が希望しないため（生活エリア、金銭的理由等）	7件	10.9%

② 現在の転退院に係る地域連携の取組について

- ・「取組を実施している」との回答が90%。
- ・具体的な取組として「地域内共通の情報シートの活用」、「施設等と会議を開催しネットワークを構築」等の意見があった。

	有		無	
仙台医療圏	31件	88.6%	4件	11.4%
仙台市	22件	88.0%	3件	12.0%
仙台市以外	9件	90.0%	1件	10.0%
宮城県計	60件	88.2%	8件	11.8%

③ 行政に期待すること

「リアルタイムで空床状況が分かるシステムの構築」、「転退院先となる医療機関の増強」等の意見があった。

(4) 高齢の救急患者受入について

① 高齢の救急患者受入に対する考え方

- ・無条件で受入が25%、困難な事例ありが74%。
- ・困難な理由としては、複数疾患や精神疾患等で処置困難の割合が多かった。

	無条件で受入 (困難な事例なし)		条件付きで受入 (困難な事例あり)		受入困難	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
仙台医療圏	7件	20.0%	27件	77.1%	1件	2.9%
仙台市	4件	16.0%	20件	80.0%	1件	4.0%
仙台市以外	3件	30.0%	7件	70.0%	0件	0.0%
宮城県計	17件	25.0%	50件	73.5%	1件	1.5%

理 由	件数	割合
A 複数疾患を持ち処置困難のため	27件	30.7%
B アルコール依存症、精神疾患などで処置困難のため	29件	33.0%
C DNAR等の治療方針が不明なため	11件	12.5%
D 心肺停止など緊急度が低いと判断されるため	8件	9.1%
E 独居等で親族等が不明のため	7件	8.0%
F 本人・家族の金銭的な問題のため	1件	1.1%
G 転院を本人・家族が希望しないため(生活エリア、金銭的理由等)	5件	5.7%

② 将来的に更に増加する高齢の救急患者について、対応策の実施・検討

- ・「対応策の実施・検討有り」との回答が43%。
- ・対応策として「在宅医療との連携体制の構築」、「地域におけるACPの取組検討」等の意見があった。

	有		無	
	件数	割合	件数	割合
仙台医療圏	14件	40.0%	21件	60.0%
仙台市	11件	44.0%	14件	56.0%
仙台市以外	3件	30.0%	7件	70.0%
宮城県計	29件	43.3%	38件	56.7%

③ 行政に期待すること

「身寄りのない高齢者患者に地域で対応する体制の構築」、「病院の役割分担の明確化」等の意見があった。

(5) 「医師の働き方改革」について

「医師の働き方改革」の施行に当たり、対応策の実施・検討

- ・「対応策の実施・検討有り」との回答が81%。
- ・対応策として「作業補助者の配置」、「医療DXの推進検討」等の回答があった。

	有		無	
	件数	割合	件数	割合
仙台医療圏	30件	81.1%	7件	18.9%
仙台市	23件	85.2%	4件	14.8%
仙台市以外	7件	70.0%	3件	30.0%
宮城県計	56件	81.2%	13件	18.8%

(6) その他行政に期待すること

「救急医、総合診療医の育成」、「電話相談事業の普及啓発」との回答が多かった。

理由	件数	割合
A #7119、#8000の24時間化	26件	20.3%
B #7119、#8000の普及啓発	29件	22.7%
C 救急医、総合診療医の育成	34件	26.6%
D 病院・救急隊間情報共有システムの充実	26件	20.3%
E 初期救急におけるオンライン診療導入	13件	10.2%

その他に「救急車をタクシー代わりにしないよう啓蒙」といった意見があった。